

国際地域研究所講演会・シンポジウム開催一覧(1988-2017)

2017年度

開催日	講演会・シンポジウム名	テーマ/報告者
2017年4月26日	「国際関係学の再創造」トランプ政権下の世界経済 (日米中政治経済研究会)	関下 稔(立命館大学・名誉教授) 中本 悟(立命館大学・教授) 河音 琢郎(立命館大学・教授)
5月27日	日米中政治経済研究会	●中国企業多国籍企業化の進展とその意味ー中所得国多国籍企業論の提唱 中川 涼司(立命館大学・教授) ●アメリカにおける貿易収支赤字の拡大と多国籍企業 小山 大介(宮崎大学・准教授)
6月22日	天然資源は恵みか呪いか ー石油資源発見による現地生活の変化が意味すること	出町 一恵(東京外国語大学)
6月27日	国際シンポジウム 「激動する北東アジアと文在寅新政権下の日韓関係」	金 殷石(韓国外交通商部エネルギー資源大使) 中達 啓示(立命館大学国際関係学部教授) 曹 良鉉(韓国国立外交院准教授) 林 恩廷(立命館大学国際関係学部助教)
7月1日	日米中政治経済研究会	●トランプ大統領の経済学 中本 悟(立命館大学・教授) ●ロバート・ライツシュ著『Saving Capitalism』をめぐって 田村 太一(流通経済大学・准教授)
8月4日	安倍憲法9条改正案をどう見るか——憲法学・平和学の視点から—— (平和主義研究会)	青井 未帆(学習院大学) クレイグ・マーティン(米国ウォッシュバーン大学) 藤田 明史(立命館大学)
8月25日	日台国際セミナー「アジア市場をめぐる日台ビジネス連携での台湾企業の役割」(中国市場ビジネス戦略研究会)	魏 聰哲 (中華経済研究院第三研究所副研究員兼 同科技政策評価研究センター長)

8月28日	映画『日曜日の散歩者』と風車詩社上映&討論会 (中国語圏地域人文学研究会)	陳 允元 (政治大学台湾文学研究科・博士) 三木 直大 (前広島大学・教授)
9月27日	日中国際シンポジウム「中国企業の国際化戦略と一帯一路」	謝 露露(上海社会科学院応用経済研究所) 蔣 媛媛(上海社会科学院応用経済研究所)
10月7日	日米中政治経済研究会	●アメリカIT産業のサービス化――ウインテル支配とIBMの事業変革 森原 康仁(三重大学・准教授) ●近年の米国における安全保障政策の特徴 松村 博行(岡山理科大学・准教授)
11月13日	朝鮮半島の平和と東北アジア協力のための日韓学術ワークショップ	張 達重(ソウル大学・名誉教授) 李 貞澈(スンシル大学・教授)
11月20日	日韓学術ワークショップ「北朝鮮核問題と北東アジア情勢の展望」	朴 振 (韓国外国語大学教授、元韓国国会外交通商統一委員会委員長)
11月25日	日米中政治経済研究会	●企業行動における「コスト病」理論の批判的検討: IO TableとIPUMS Dataを用いた パネルデータ分析 藁谷 達至(立命館大学大学院経済学研究科・M2) ●書評報告: 秋田浩之(2016)『乱流 米中日安全保障三国志』田中明彦他編(2017) 『提言 日米同盟を組み直す』 松村 博行(岡山理科大・准教授)
12月11日	日中国際セミナー「中国の家族企業とその事業承継」 (中国市場ビジネス戦略研究会)	陳 凌(浙江大学管理学院企業家学院長・教授)
12月16日	Pax Sino-Americana? ―21世紀世界秩序の現状分析と変革の道筋 (平和主義研究会)	関下 稔(立命館大学・名誉教授)
12月20日	中国強国化に伴う国際的軋轢と国際協力 ― 国際租税回避を事例として ―	望月 爾(立命館大学法学部・教授) 近藤 義雄(近藤公認会計士事務所所長・公認会計士)

12月23日	日米中政治経済研究会	●経済を測る、比較するー価格ニュメラル、物量ニュメラル、為替相場 板木 雅彦(立命館大学・教授) ●GVCs、サービスをめぐる近年の状況 小山 大介(宮崎大学・准教授)
2018年1月10日	セミナー「南スーダンの平和構築と日本の役割」	紀谷 昌彦(外務省)
1月16日	中国相続法制を巡る新動向 -遺言者の自由を制限する制度の行方を中心に-(中国法・アジア法研究会)	朱 曄(静岡大学地域法実務実践センター・教授)
2月10日	「GCV研究の基本論点」(日米中政治経済研究会)	田村 太一(流通経済大学)
2月17日	習近平の中国をどう見るか ——中国共産党と東アジアの平和(平和主義研究会)	加治 宏基(愛知大学現代中国学部・准教授) 小原 雅博(立命館大学国際関係学部・客員教授)
2月24日	西田幾多郎と国際関係学 ——グローバル国際関係学への助走(平和主義研究会)	内藤 酬(河合塾・講師) 清水 耕介(龍谷大学国際学部・教授) 嘉戸 一将(龍谷大学文学部・准教授)
3月5日	日中国際セミナー「急成長する中国ニュービジネスの現状と背景」 (中国市場ビジネス戦略研究会)	西村 友作(对外経済貿易大学国際経済研究院・副教授)

2016年度

開催日	講演会・シンポジウム名	テーマ/報告者
2016年4月23日	日米中政治経済研究会	●「2016年初頭からの世界経済の動揺——来るべき危機をとらえる準備として」 板木 雅彦(立命館大学・教授) ●「東アジアの国際分業構造と中国の付加価値貿易」 田村 太一(流通経済大学)
5月25日	連続日韓ワークショップ第1回北朝鮮はどこへ行くのか -北朝鮮第7回党大会と今後の北東アジア情勢-	郭 台煥(Chair-Professor at Kyungnam University) 孫 基雄(韓国統一研究院前任研究員)

5月28日	日米中政治経済研究会	●「多国籍企業による企業内貿易の新展開」 小山 大介(宮崎大学) ●「アメリカ多国籍企業子会社の利潤率動向-1990 年以降における利潤率の低落傾向に関して」 岡田 啓輔(立命館大学国際関係研究科)
6月1日	連続日韓ワークショップ第1回北朝鮮はどこへ行くのか -北朝鮮第7回党大会と今後の北東アジア情勢-	韓国統一研究院
6月25日	中国経済経営学会学術研究会(西日本部会)	中川 涼司(立命館大学) 林 幸司(滋賀県立大学) 巖 善平(同志社大学) 他
7月1日	日中国際セミナー転型期文学の問題意識と「説理」主潮——改革小説を中心に(中国語圏地域人文研究会)	蘇 奎(東北師範大学・副教授)
7月2日	日米中政治経済研究会	●『地方創生』政策と地域経済循環分析にむけて 渡邊 英俊(島根大学) ●アメリカにおける消費者信用の発展とその意義—自動車ローンを中心に 松嶋 紀美子(大阪市立大学大学院創造都市研究科)
7月4日	非軍事による平和構築の最前線—南スーダン、シリアでのNGO活動、カトリック教会の自己改革—(平和主義研究会)	基調報告:メル・ダンカン(国際NGO非暴力平和隊・創設者) 討論:マイケル・シーゲル(南山大学社会倫理研究所)
8月5日	セキュリティ・ガバナンス論の新地平(CAPS)	足立 研幾(立命館大学・教授) 中内 政貴(大阪大学・准教授) 福海 さやか(立命館大学・准教授) 岡野 英之(立命館大学・専門研究員) 山根 健至(福岡女子大学・講師) 山根 達郎(広島大学・准教授)
10月27日	ブラジルにおける「中所得国の罫」	田中 祐二(立命館大学経済学部・教授)
11月2日	高度情報化社会における法規範の役割-いわゆる仮想財産の民法的保護に関する日米中比較を題材として-(中国法・アジア法研究会)	角本 和理(北海道大学大学院法学研究科・助教)
11月7日	中国著名作家 閻連科氏講演会(中国語圏地域人文学研究会)	●閻連科とは誰か？ 王 堯(蘇州大学・教授) ●卑しさと不安の創作 閻 連科(中国人民大学教授)

11月12日	知識資本主義の解明:グローバルスタンダードと知財重視社会の登場 (日米中政治経済研究会)	関下 稔(立命館大学・名誉教授)
12月4日	ガルトゥング平和学の進化と深化—わたしはなぜ論文「暴力・平和・平和研究」 (1969)を訳し直したか—(平和主義研究会)	藤田 明史(立命館大学・非常勤講師)
12月10日	日米中政治経済研究会	●塩沢由典『リカード貿易問題の最終解決』(2014)を読む —リカード・マルクス型 貿易理論を目指して 板木 雅彦(立命館大学・教授) ●Baumol「コスト病」と経済成長 藁谷 達至(立命館大学大学院経済学研究科)
12月13日	日中国際セミナー「インターネット時代のビジネスモデルとそのイノベーション」 (中国市場ビジネス戦略研究会)	王 海兵(北京コアラ科技有限公司創業者兼CEO)
12月23日	ドイツ基本法制定過程における軍備保有論議 (平和主義研究会)	宮本 光雄(成蹊大学名誉教授)
2017年1月10日	インターネットの普及から見る中国ビジネス法実務(中国法・アジア法研究会)	劉 新宇(金杜法律事務所パートナー弁護士/中国政法大学大学院特任教授)
1月21日	韓国憲法の平和主義--その構造と内容(平和主義研究会)	李 京柱(韓国仁荷大学校法学専門大学院・教授)
1月21日	リカード・マルクス型貿易理論を目指して(日米中政治経済研究会)	板木 雅彦(立命館大学・教授)
2月9日	南スーダン・人道支援の現場から——国際NGO “Nonviolent Peaceforce”の挑 戦(平和主義研究会)	岡田 二郎(国際NGO “Nonviolent Peaceforce” スタッフ)
2月11日	国際平和研究学会(IPRA)の現段階と課題(平和主義研究会)	児玉 克哉(国際平和研究学会事務局長)
2月14日	戦争権限の憲法的統制——アメリカ合衆国の場合(平和主義研究会)	三宅 裕一郎(三重短期大学法経科・教授)

3月4日	"Who makes China's foreign and security policies? The enigma of Chinese power"-コスタリカ憲法の平和主義と非武装永世中立政策(平和主義研究会)	澤野 義一(大阪経済法科大学法学部・教授)
3月4日	日米中政治経済研究会	●リカード・マルクス型貿易理論を目指して(2)-パラダイムの転換 板木 雅彦(立命館大学・教授) ●グローバル資金管理と直接投資 小西 宏美(駒沢大学・准教授)
3月6日	鲁迅再読－鲁迅の描く人物像から「近代」を探る (中国語圏地域人文学研究会)	大野 陽介(大阪市立大学・非常勤講師) 城山 拓也(立命館大学・外国語嘱託講師) 鳥谷 まゆみ(北九州私立大学・准教授)
3月11日	"Who makes China's foreign and security policies? The enigma of Chinese power" -平和主義の論理と倫理－アポリア構造とその打開？(平和主義研究会)	松元 雅和(関西大学政策創造学部・准教授)
3月18日	"Who makes China's foreign and security policies? The enigma of Chinese power"-新たな連帯と政治倫理のかたち-社会運動とドゥルーズ哲学にみる共生の可能性(平和主義研究会)	田村 あずみ(長崎大学多文化社会学部・戦略職員)

2015年度

開催日	講演会・シンポジウム名	テーマ/報告者
2015年4月18日	日米中政治経済研究会	●国際産業連関表と付加価値貿易・投下労働量分析 橋本 貴彦(立命館大学経済学部) ●ジェイムズ・スタンバーグ/マイケル・E・オハンロン『米中衝突を避けるために』を巡る論点 田村 太一(流通経済大学)/松村博行(岡山理科大学)
7月11日	グローバル資本主義と米中政治経済関係(日米中政治経済研究会)	関下 稔(立命館大学・名誉教授)

8月3日	入管法の法的考察-国際私法、涉外法の視点から (人身取引の国内法制と国際法制の対話研究会)	趙 慶済(司法書士) 片岡 雅世(福岡工業大学・助教) 樋爪 誠(立命館大学法学部・教授)
10月10日	日米中政治経済研究会	●現代における中国の養蚕業と製糸業の展開－農業経済の視点から見る伝統産業の産地移動と龍頭企業－ 倪 卉(立命館大学・嘱託講師) ●アメリカの学生ローンの発展 松嶋 紀美子(大阪市立大学大学院)
11月21日	新製品設計構造戦略の展開と日アジア地域自動車部品産業 (日米中政治経済研究会)	竹野 忠弘(名古屋工業大学)
11月27日	1930年代上海の漫画について-「良友」「時代漫画」などから- (中国語圏地域人文学研究会)	城山 拓也(立命館大学・外国語嘱託講師)
12月12日	中国企業システム研究会シンポジウム 「中国における市場ガバナンスと機業ガバナンス -国進民退問題とも関連して-」	●総論および電気通信業、テレビ製造業を中心に 中川 涼司(立命館大学国際関係学部・教授) ●石油化学産業を中心に 楊 秋麗(立命館大学政策科学部・講師) ●工作機械産業を中心に 韓 金江(岐阜経済大学経営学部・教授) ●自動車産業を中心に 向 渝(香川大学経済学部・准教授)
2016年1月23日	日米中政治経済研究会	●TPP交渉大筋合意とベトナム・マレーシア国内の反応－現地報道、政府の影響分析結果などからみえるもの 井出 文紀(近畿大学) ●防衛装備移転三原則および防衛生産・技術基盤戦略の分析 松村 博行(岡山理科大学)

2月5日	『欧州の「難民」「移民」流入問題を考える』 -ハンガリーの現場からEUと国際政治経済の視点でみる-(EU研究会)	盛田 常夫(ハンガリー立山研究所代表)
3月4日	日台国際セミナー「台湾中小企業の国際アライアンス戦略による新興国市場の展開と進化」(華人企業経営研究会)	魏 聰哲 (中華経済研究院第三研究所副研究員兼同科技政策評価研究センター長)
3月19日	グローバル・サウスと暴力(途上国研究会)	●ベトナム戦争の後遺症と市民運動—ベトナム帰還兵の「和解・共生」の試み— 藤本 博(南山大学) ●暴力・宗教・帝国主義—パレスチナ問題の起源からの考察 金城 美幸(日本学術振興会) ●1Q94 — アフリカ暴力再考 木田 剛(筑波大学) ●マレーシア、ベトナムのTPP参加をめぐる議論とその反応—グローバル化と暴力」の視点から— 井出 文紀(近畿大学) ●中国における大気汚染と環境NGO—対立から協働へ— 知足 章宏(京都大学) ●フィリピンにおける治安機構と国家-社会関係—ミンダナオ島紛争地域の事例— 山根 健至(福岡女子大学)

2014年度

開催日	講演会・シンポジウム名	テーマ/報告者
2014年4月26日	日米中政治経済研究会	●貿易からみた経済統合の計測 板木 雅彦(立命館大学) ●シンガポール調査報告 中本 悟(立命館大学)/井出 文紀(近畿大学) ●アメリカ調査報告 藤本 あかね(立命館大学大学院)
6月14日	ミャンマー経済と国際関係(日米中政治経済研究会)	西澤 信善(近畿大学世界経済研究所)

7月11日	日中経済連携セミナー「転換期の中国経済と日中経済連携」	●「中国経済・金融改革の 背景と展望」 西村 友作 (対外経済貿易大学国際経済研究院・副教授) ●「新中国経済と中日経済貿易関係について」 夏 占友 (対外経済貿易大学国際経済研究院・教授)
7月19日	グローバリゼーション・パラドックスの一考察(日米中政治経済研究会)	井上 博 (阪南大学)
7月26日	中国における市場競争秩序の形成と課題―独占禁止法施行後の動きを中心に―(中国企業システム研究会)	川島 富士雄 (名古屋大学)
10月4日	途上国における「暴力」考える視点―「世界開発報告2011」から(途上国研究会)	松下 冽 (国際関係学部・特任教授)
10月18日	日米中政治経済研究会	●「補完的資源／技術と社内組織の統合化にもとづくソリューション・サービス事業への傾注―1990年代IBMにおける組織再編の検討」 森原 康仁 (三重大学) ●猪口孝・G.J.アンケンベリー編『日本・アメリカ・中国―錯綜するトライアングル』をめぐって 松村 博行 (岡山理科大学)
11月1日	平和主義研究会	●ひとり芝居「情熱に燃える魂―ベルタ・フォン・ズットナーの生涯」 構想・出演: マクシー・ブラハ /日本語ナレーター: 山崎 幸子 ●ベルタ・フォン・ズットナーの思想と行動:ノーベル平和賞誕生のひとつの背景 糸 井川 修 (愛知学院大学) ●2014年のノーベル平和賞について 君島 東彦 (立命館大学)
11月15日	日米中政治経済研究会	●付加価値貿易(TiVA)統計の検討―中国及びアジア各国分析を中心に― 小山 大介 (宮崎大学) ●アメリカの金融規制改革とToo Big To Fail問題 藤本 あかね (立命館大学大学院)
11月21日	安全保障と主権国家体系(日本経済研究会)	遠藤 乾 (北海道大学大学院法学研究科・公共政策大学院・教授)

11月26日	台湾における同土小説と林懷民(中国語圏地域人文学研究会)	宮内 肇(立命館大学・准教授)
12月14日	ドキュメンタリー映画「ハーフ」上映会 (トランスナショナル移民研究会)	エドワード・須本/デイビッド・矢野(映画出演者)
12月20日	国際産業連関表と付加価値貿易・投下労働量分析(日米中政治経済研究会)	橋本 貴彦(立命館大学)
2015年1月23日	途上国研究会	●中国の環境汚染をめぐる被害と放置の構造:雲南省農村地域の「癌の村」を事例に 知足 章宏(京都大学) ●軍の文民統制と市民社会:フィリピンの治安部門改革における市民社会組織の関与 山根 健至(福岡女子大学)
2月21日	日本経済の現状とアベノミクス(日本経済研究会)	増島 稔(内閣府大臣官房審議官)
2月25日	現政権の中長期経済政策について(日本経済研究会)	野村 裕(内閣府政策統括官)
3月14日	国際経済研究シンポジウム「日米中3カ国間貿易の変貌とアジア経済の新局面」	●貿易構造分析の前提としての主成分分析 板木 雅彦(立命館大学・教授) ●TPP交渉とアジア参加国の課題—マレーシア、ベトナムを中心に 井出 文紀(近畿大学) ●先進諸国の長期停滞論—ローレンス・サマーズの問題提起とその影響 森原 康仁(三重大大学)
3月25日	ポスト・オスロ体制へ？-パレスチナ独立国家承認への歩みとその弊害(途上国研究会)	金城 美幸(立命館大学衣笠総合研究機構・専門研究員)

2013年度

開催日	講演会・シンポジウム名	テーマ/報告者
-----	-------------	---------

2013年4月14日	対談「アベノミクスは何をもたらすか」	水野 和夫(日本大学)/小田野 耕明(岩波書店)
5月17日	中国企業システム研究会	●【プロジェクト趣旨説明】 市場環境適応・市場ガバナンス・企業ガバナンスから見る中国の「『国進民退』現象」 中川 涼司(立命館大学) ●中国大型国有企業の経営システム改革の現状と課題 楊 秋麗(立命館大学)
5月24日	EUのマクロ地域戦略:ドナウ川流域のケース —国際河川地域開発の比較研究—(メコン川開発研究会)	田中 宏(立命館大学)
5月25日	日米中政治経済研究会	●過剰資本とは何か?—資本制生産様式の全体構造における過剰資本の位置づけ 板木 雅彦(立命館大学) ●米国の「中間層」再興をめぐる議論の動向 松村 博行(岡山理科大学)
5月31日	日本企業と中国社会の共生共存に向けて—デモから半年における日本企業の実態に基づいて—(華人企業経営研究会)	劉 慶紅(立命館大学)
6月7日	ネオリベラリズムの系譜(途上国研究会)	中谷 義和(人文科学研究所・上席研究員)
6月15日	日米中政治経済研究会	●イェットギリエス著『多国籍企業と国際生産』の紹介と多国籍企業論の課題について 井出 文紀(近畿大学) ●金融危機前後の対ASEAN貿易・投資の予備的考察 井上 博(阪南大学)

6月21日	中国系企業合同研究会	●SPAによるブランド構築ーオールドスカシミア・グループの事例を中心として - 苗 苗(立命館大学経営学研究科博士後期課程) ●中国自動車業界の再編と国有企業集団の成長 - 向 渝(立命館大学・助教) ●中国工作機械産業の動向と国有企業の状況 - 韓 金江(成美大学経営情報学部・准教授)
6月28日	水資源管理におけるガンバナンスの考察-メコン川流域を事例として (メコン川開発研究会)	濱崎 宏則(総合地域環境学研究所・研究員)
7月6日	日米中政治経済研究会	●Wintelism の終焉とIT 産業の再統合化 - 森原 康仁(三重大学) ●米上院金融危機調査報告からみる投資銀行とヘッジファンドの関係 - 藤本 あかね(立命館大学博士後期課程)
7月19日	新自由主義の理論的類型ーラテン・アメリカに照らしてみた東アジアー (グローバル化と公共性研究会)	佐野 誠(新潟大学経済学部・教授)
9月21日	「中国的」新自由主義とミニマム公共サービス(途上国研究会)	毛 桂榮(明治学院大学法学部・教授)
10月4日	中国-ベトナム関係-協力の中の対立(メコン川開発研究会)	細川 大樹(大阪経済大学・教授)
10月18日	経ヶ岬(京丹後市)への米軍基地建設計画を考える (ジェンダーと平和・開発研究会)	●緊急共同声明提出と防衛省・京都府への申し入れの経験から - 大野 光明(大阪大学グローバルコラボレーションセンター) ●京丹後市宇川地区から - 永井 友昭(「米軍基地建設を憂う宇川有志の会」)
10月25日	中国の「国進民退」と混合市場体制:制度的背景と市場構造 (中国企業システム研究会)	渡邊 真理子(学習院大学)
11月1日	中国公的医療保険制度の到達点と課題(中国企業システム研究会)	徐 林卉(上海社会科学院部門経済研究所・副研究員)

11月2日	日米中政治経済研究会	●人民元問題の政治経済学－経済的相互依存はどのように管理されたのか－ 藤木 剛康(和歌山大学) ●日米中三カ国間の投資・サービスについて－その基礎的な考察 中本 悟(立命館大学)/田村 太一(流通経済大学)
11月22日	タンザニア現地報告:見落とされがちな課題(途上国研究会)	矢口 真琴(ジョイセフ開発協力グループ プログラムオフィサー)
12月14日	子どもたちへの平和教育「性奴隷制」をどう伝えるか(ジェンダーと平和開発研究会)	池田 恵理子 (アクティブ・ミュージアム「女たちの戦争と平和資料館(wam)」館長)
12月21日	日米中政治経済研究会	●日米・米中間農産物貿易の近年の動向・再論 千葉 典(神戸市外国語大学) ●東アジア地域包括的経済連携(RCEP)の概要と論点 井出 文紀(近畿大学)
2014年1月17日	非伝統的安全保障に関する －考察:米軍における女性軍人の東洋を事例として(途上国研究会)	岩田 英子(防衛賞防衛研究所理論研究部)
1月24日	アメリカ領グアムにおける未完の脱植民地化 －新自由主義と軍事化のなかで－(途上国研究会)	長島 怜央(法政大学)
2月8日	日米中政治経済研究会	●グローバル時代の米中政治経済関係の概括的考察:米中政治経済学序説 関下 稔(立命館大学) ●アジア貿易の先導・追従関係について 板木 雅彦(立命館大学)

2月20日	非西洋社会における セキュリティ・ガバナンスの展開と課題 ～ 非国家武装主体と国家 ～(グローバル市民社会研究会)	●西アフリカの事例 山根 達郎 (広島大学) ●中東の事例 長嶺 義宣 (東京大学) ●東南アジアの事例①ーフィリピン 山根 健至 (立命館大学) ●東南アジアの事例②ーマレーシア 工藤 献 (立命館大学) ●中南米の事例 福海 さやか (亜細亜大学)
3月18日	日中経済ビジネス会議(華人企業経営研究会)	転換期の中国経済と日中経済・ビジネス連携
3月30日	国際シンポジウム新たな国際経済秩序の形成と中国の対外経済政策-グローバルガヴァナンス問題を中心に-(日米中政治経済研究会)	陳 友駿 (上海国際問題研究員世界経済研究所・研究員)

2012年度

開催日	講演会・シンポジウム名	テーマ/報告者
2012年5月11日	朝鮮半島特別講演会①(北朝鮮問題研究会)	●韓国人の日本に対する認識 金 ホソプ (韓国中央大学・教授) ●金正恩政権の登場と韓半島の将来 崔 ジンウク (韓国統一研究院企画調整室長)
5月12日	日米中政治経済研究会	●アメリカ現地調査報告 中戸 祐夫 (立命館大学)/ 松村 博行 (岡山理科大学)/ 田村 太一 (流通経済大学) ●ベトナム現地調査報告 関下 稔 (立命館大学)/ 井出 文紀 (近畿大学)/ 森原 康仁 (京都大学大学院)

5月18日	中国におけるフォルクスワーゲンと現代自動車のサプライシステム (華人企業経営研究会)	朴 泰勲(大阪市立大学創造都市研究科・教授)
6月1日	韓国の国防政策と国防改革－北朝鮮の軍事的脅威にどう対処するか (北朝鮮問題研究会)	ホン キュドク(淑明女子大学・教授)
6月23日	外国人労働者をめぐる法政策－日本の課題とアメリカ法からの示唆 (ヒューマン・トラフィキング研究会)	早川 智津子(岩手大学国際交流センター・准教授)
6月29日	中国における多国籍企業の異文化マネジメントに関する研究:立地選好、文化適応とネットワーク活動を中心に(華人企業経営研究会)	吉 偉偉(立命館大学大学院経営学研究科博士課程)
7月7日	ナオミ・クライン「ショックドクトリン」で現代世界を考える (日米中政治経済研究会)	溝端 佐登史(京都大学/関下 稔(立命館大学))
7月11日	中東・マグレブにおける異議申し立てのネットワーク(途上国研究会)	吉川 卓郎(立命館アジア太平洋大学 准教授)
7月13日	中国のアパレル市場に対する中国企業のブランド構築の展開－ヤンガー・グループを素材として－(華人企業経営研究会)	苗 苗(立命館大学大学院経営学研究科博士課程)
7月21日	英国学派国際関係理論研究会	●英国学派の人的介入論:秩序、正義、国益の関係 小松 志朗(早稲田大学・現代政治経済研究所・特別研究所員) ●グローバル・ガバナンスと国際社会アプローチ 佐藤 千鶴子(日本貿易振興機構アジア経済研究所・研究員) ●The Expansion of International Society or A Clash of Two International Societies? Rethinking China's Under-active Response to the 'Loss' of Ryukyu Chen Ching-Chang (Assistant Professor of International Politics, Ritsumeikan Asia Pacific University)
7月26日	ユーロ危機の現状と行方(EU研究会)	星野 郁(立命館大学・教授)

7月30日	日独国際講演会「人身取引－国際的な諸条約・協定とそれらのスイスおよびオーストリアにおける実施/スイス刑法典における不真正不作為犯」 (人身取引研究会)	Christian Schwarzenegger (チューリッヒ大学)
8月1日	東アジアの経済・通貨協力(メコン川開発研究会)	石川 幸一(亜細亜大学アジア研究所・教授)
10月6日	日米中政治経済研究会	●在韓米軍の兵力規模の変化要因 宋 基栄(国際関係研究科博士課程後期過程) ●韓国の対外関係をめぐる思想葛藤「親北朝鮮－反北朝鮮」「親米－反米」を中心に 朴 貞喜(国際関係研究科博士課程後期過程)
10月12日	非国家主体による『規範』の形成と多層的なガバナンス(途上国研究会)	川村 仁子(東洋大学・助教)
10月19日	急成長する中国の三一重工の現地調査報告(華人企業経営研究会)	陳 晋(立命館大学・教授) 韓 金江(成美大学・准教授) 徐 可(立命館大学経営学研究科博士前期課程)
10月31日	資本主義は日本を救えるか(日米中政治経済研究会)	水野 和夫(内閣府審議官・国家戦略担当)
11月16日	香港の経済環境における華人企業グループの経営戦略 (華人企業経営研究会)	守 政毅(立命館大学)
11月17日	英国学派とポスト西洋型国際関係理論研究プロジェクト	●英国委員会の歴史的展開についての考察 角田 和広(明治大学・助手) ●ハイパーキーな国際社会の理論構築に向けて 千知岩 正継(北九州市立大学・非常勤講師) ●英国派と国際関係の社会的分析 川村 仁子(東洋大学助・教授) ●文明の挑戦・国際関係論の未来-英国派を手掛かりに 池田 文祐(インド・O.P.ジन्दル・グローバル大学・准教授)

11月19日	海外ビジネスの現場から(華人企業経営研究会)	木全 千裕(関西日本香港協会・会長)
11月23日	方法としてのトランスナショナリズム:移民の視点から (トランスナショナル移民研究会)	大井 由紀(南山大学) 柏崎 千佳子(慶應義塾大学)
11月23日	日本企業の研究開発活動中国展開(華人企業経営研究会)	畠山 俊宏(富山高等専門学校・助教)
12月1日	シンポジウム「東南アジアのリージョナル・ガバナンスとフィリピン」 (途上国研究会)	山根 健至(立命館大学)/福島 浩治(法政大学)/太田 和宏(神戸大学)
12月7日	シンポジウム「人の国際移動と法」①入管法の総論的課題(人身取引研究会)	近藤 敦(名城大学)/明石 純一(筑波大学)他
12月8日	シンポジウム「人の国際移動と法」②各法分野からみた入管法 (人身取引研究会)	新井 信之(香川大学)/早川 智津子(岩手大学)他
12月11日	中国大型国有企業の経営システム改革 ー中国石油天然ガス集团公司を中心としてー(華人企業経営研究会)	楊 秋麗(政策科学部助教)
12月13日	ブラジルの伝統的知識の利益配分に関する ー考察:企業とコミュニティーの交渉を事例に(途上国研究会)	大瀧 正子(龍谷大学アフラシア多文化社会 研究センター・博士研究員)
12月22日	日米中政治経済研究会	●グローバル企業とISDS(投資家対国家の紛争処理)条項 中本 悟(立命館大学) ●今日のアメリカの連邦税制改革の動向-レーガン政権以降の所得税改革を中心に- 河音 琢郎(立命館大学)
2013年1月11日	日本中小自動車部品メーカーの中国進出戦略(華人企業経営研究会)	陳 晋(立命館大学・教授)/金香花(立命館大学経営学研究科)

1月26日	メコン川開発研究会	●ミャンマーの最新政治情勢 津守 滋(立命館アジア太平洋大学・客員教授) ●ミャンマーの最新経済情勢 西澤 信善(近畿大学産業理工学部・教授)
2月1日	中国中部地域における製造業の新発展—湖南省株洲市の事例— (華人企業経営研究会)	林 松国(立命館大学・助教)
2月9日	2008年世界金融危機と中国(日米中政治経済研究会)	中川 涼司(立命館大学)
2月22日	アラブ革命の影で:パレスチナ人の国際秩序認識に反映された政治的課題 (途上国研究会)	浜中 新吾(山形大学・准教授) 鈴木 規夫(愛知大学・教授)
3月10日	英国学派国際関係理論研究会	●英国学派の国際社会論における正当性の概念—ワイト、ヴィンセント、クラーク の議論を中心に— 千知岩 正継(北九州市立大学・講師) ●核拡散と国際秩序—ブルの議論を中心に 佐藤 史郎(大阪国際大学・講師) ●日本人の平和認識—英国学派の『多元主義』『連帯主義』論争に照らして 佐藤 誠(立命館大学・教授)
3月15日	境界の再編—米国の難民定住地での繋がりのかたち (トランスナショナル移民研究会)	久保 忠行(日本学術振興会特別研究員PD・京都大学)
3月16日	日米中政治経済研究会	●21世紀型地域主義について 中本 悟(立命館大学) ●世界金融危機と米中関係 田村 太一(流通経済大学)

2011年度

開催日	講演会・シンポジウム名	テーマ/報告者
-----	-------------	---------

2011年5月21日	日米中政治経済研究会	●最近の日米中関係について 中戸 祐夫(立命館大学) ●日米中三か国間の貿易・投資統計分析 田村 太一(国際日本文化研究センター・機関研究員) 小山 大介(大阪樟蔭女子大学・非常勤講師)
6月13日	ミャンマーは変わるか？-議会選挙後の軌跡と展望-(メコン川開発研究会)	津守 滋 (元ミャンマー大使)
6月16日	朝鮮半島情勢と南北関係展望(北朝鮮問題研究会)	諸 成鎬 (中央大学・教授)
6月25日	日米中政治経済研究会	●ドル体制と東アジアの国際通貨制度 奥田 宏司(立命館大学) ●日米金融機関の中国進出について 中川 亮平(立命館大学)
6月25日	英国学派とポスト西洋型国際関係理論研究会	●人道的介入における武力行使と外交交渉: 英国学派的「秩序と正義の手がかり」に 小松 志朗(早稲田大学政治経済学術院・研究員) ●ハイアラーキーな社会における権威と正当性 千知岩 正継(北九州大学・非常勤講師)
7月15日	中国市場をめぐる中国と日本の工作機械メーカーの攻防戦略 (華人企業経営研究会)	韓 金江 (成美大学経営情報学部・准教授)
7月22日	東アジア専門家会議「東北アジア地域協力と中朝関係」	●北朝鮮の最新動向について 呂 超(朝鮮-韓国研究センター・主任) ●延辺朝鮮族と自治州と中朝関係 金 香海(延辺大学東アジア研究センター・教授) ●図們江地域調査報告 松野 周治(立命館大学・教授)

7月23日	日米中政治経済研究会	●東アジアにおける非対称性の安心供与 佐藤 史郎 (京都大学東南アジア研究所・特定研究員) ●米国の財政赤字削減と東アジア戦略 松村 博行 (岡山理科大学)
7月28日	日中学術交流講演会—中国社会科学院青年研究者代表団を迎えて—	●「東アジア共同体」か「APEC共同体」か—アジア太平洋地域における協力と日本の進路— 西口 清勝 (立命館大学・教授) ●東アジア地域協力に対する中国側のアプローチ 李 众敏 (中国社会科学院世界経済政治研究所・副研究員)
8月1日	東アジア専門家会議「日本震災後の日中経済関係」	●TPPを巡る日本国内の議論と今後の展望 中川 涼司 (立命館大学・教授) ●中国第12次5カ年計画とエネルギー問題 陳 家海 (上海社会科学院部門経済研究所・研究員) ●中国における新エネルギーの利用—バイオエタノールの場合— 楊 秋麗 (立命館大学政策科学部・助教) ●日本東北大地震後の世界の原子力発電政策の動向 葛 偉民 (上海社会科学院部門経済研究所・研究員) ●3・11震災後の日中経済関係変化の諸特徴 楊 建文 (上海社会科学院部門経済所長) ●震災後の日本経済 中川 亮平 (立命館大学・専任講師) ●長三角地区産業構造調整・転換の発展 王 振 (上海社会科学院部門経済研究所・研究員) ●華人ビジネスネットワークの連結機能 守 政毅 (立命館大学・准教授)
8月2日	ミャンマー政治・経済の現在—新政権でなにが変わり、なにが変わらないか— (メコン川開発研究会)	工藤 年博 (日本貿易振興機構アジア経済研究所)
10月4日	メコン地域：拠点開発の取り組み(メコン川開発研究会)	石田 正美 (日本貿易振興機構アジア経済研究所バンコク研究センター 主任研究員)

10月14日	「和諧社会」への転換期における日系企業の中国社会との共存共生 (華人企業経営研究会/中国市場ビジネス戦略研究会)	劉 慶紅(早稲田大学公共政策研究所・招聘研究員)
10月28日	改革・開放33年に見る中国地殻変動 (途上国研究会)	藤野 彰(読売新聞編集委員/元中国総局長)
10月28日	立命館未来プロジェクト第2回フォーラム 「近代の終焉という歴史認識から見た大震災と原発事故の意味を問う」	水野 和夫(内閣府官房審議官)
10月29日	日米中政治経済研究会	●パワーと資源の政治経済学―新興国台頭と「アメリカ後」におけるグローバル・リスク連関の構図 櫻井 公人(立教大学) ●東日本大震災による生産拠点の被害状況と海外への影響 井出 文紀(近畿大学) ●グローバルな部品供給網に対する東日本大震災の影響――主要論点のサーベイ 森原 康仁(大阪経済大学)
11月4日	中国の自動車産業政策と市場動向―世界金融危機以降を中心に― (華人企業経営研究会/中国市場ビジネス戦略研究会)	呉 保寧(現代文化研究所・主任研究員)
11月11日	中国化粧品市場における顧客創造-米日中企業戦略の比較- (華人企業経営研究会/中国市場ビジネス戦略研究会)	肖 榮(経営学研究科博士後期課程)
11月18日	中国自動車市場の変化と日欧米韓中企業の戦略(華人企業経営研究会/中国市場ビジネス戦略研究会)	陳 晋(立命館大学・教授)
11月19日	日米中政治経済研究会	●"Global City and Creative City" 中本 悟(大阪市立大学) ●"Strategic Use of Non-equity Modes by Multinational Corporations- from The World Investment Report 2011-" 田村 太一(国際日本文化研究センター・機関研究員)

11月21日	平和研究の過去・現在・未来;トランセンドの立場から (平和・紛争研究プロジェクト)	奥本 京子(大阪女学院大学・教授)
2012年1月25日	高度成長から分配の時代へ―新政権の課題―(国際経営分野研究会)	藪内 正樹(日本貿易振興機構海外調査部・上席主任調査研究員)
1月27日	スマートフォンをめぐる重層的国際競争と中国 (華人企業経営研究会/中国市場ビジネス戦略研究会)	中川 涼司(立命館大学・教授)
1月28日	中国電動二輪車メーカーの成長戦略-「緑源」を中心に- (華人企業経営研究会/中国市場ビジネス戦略研究会)	斯 飛玲(ニチコン(株)営業本部海外営業部)
1月28日	日米中政治経済研究会	●世界経済およびアメリカ産業構造の変化とTPP戦略 小山 大介(大阪松蔭女子大学 非常勤講師) ●アメリカ人の消費構造 松嶋 紀美子(大阪市立大学創造都市研究科後期博士課程)
2月6日	平和・紛争研究プロジェクト研究会	●明学平和研の四半世紀―反省と展望 高原 孝生(明治学院大学国際学部・教授) ●平和と和解の研究センターの課題と展望 足羽 與志子(一橋大学社会学研究科・教授)
2月10日	華人企業経営研究会/中国市場ビジネス戦略研究会	●中国市場における日産自動車の快進撃 向 渝(立命館大学・助教) ●中国民営自動車部品企業の成長戦略と制約要因-浙江省温州瑞安市の事例を中心に- 林 松国(立命館大学・助教) ●香港における華人企業集団の成長戦略-長江集団を中心に- 守 政毅(立命館大学・准教授)
2月11日	欧米経済危機とオバマ政権の経済政策 ―対外政策のアジアシフトの意味するもの―(日米中政治経済研究会)	荻原 伸次郎(横浜国立大学)

2月24日	平和・紛争研究プロジェクト研究会	●創価大学平和問題研究所―設立理念と今後の展望 玉井 秀樹(創価大学文学部・教授) ●国際基督教大学平和問題研究所―成果と今後の課題 木部 尚志(国際基督教大学教養学部・教授)
3月2日	平和研究と安全保障研究について考える-平和研究の再活性化のために (平和・紛争研究プロジェクト研究会)	加藤 朗(桜美林大学リベラルアーツ学群・教授)
3月5日	平和・紛争研究プロジェクト研究会	●長崎大学核兵器廃絶研究センターがめざすもの 梅林 宏道(NPO法人ピースデポ・特別顧問) ●長崎平和文化研究所と長崎における平和研究-これまでとこれから 芝野 由和(長崎総合科学大学・准教授)
3月6日	東アジアにおける越境的なリージョナル放送空間の構築(途上国研究会)	玄 武岩(北海道大学大学院メディア・コミュニケーション・准教授)
3月9日	EU研究会	●欧州司法協力-EU刑事司法協力に対する司法裁判所の管轄権と機能- 浦川 紘子(大阪女学院大学) ●グローバル・アクターとしてのEUとアジア Michael Reiterer(欧州委員会委員)
3月10日	国際地域研究所・東京大学産学連携プロジェクト「21世紀の日本の進路を考える会」合同ワークショップ	●歴史の危機とポスト・グローバリゼーション～蒐集の終わり～ 水野 和夫(埼玉大学・客員教授) ●戦後日本における成長政策の批判的検証 高橋 伸彰(立命館大学・教授) ●グローバルヒストリーとして見た現代アジア農業 川島 博之(東京大学大学院農学生命科学研究課・准教授) ●長い20年世紀の終わりとりスクの変容 山下 範久(立命館大学・教授)
3月17日	日本のFTA/EPAと農業問題 (日米中政治経済研究会)	石黒 馨(神戸大学)

2010年度

開催日	講演会・シンポジウム名	テーマ/報告者
2010年5月17日	水の安全保障とガバナンス:バングラディシュ農村におけるボトムアップ型水環境管理の事例から(途上国研究会)	大倉 三和(立命館大学・准教授)
5月29日	日米中政治経済研究会	●日米中トライアングル関係の基本視点 朝日 稔(立命館大学・特任教授) ●NAFTAの現状と問題 中本 悟(大阪市立大学・教授) ●プロジェクトの進め方 中川 涼司(立命館大学・教授)
6月4日	ヴェトナム経済の現状と問題点(メコン川開発研究会)	古川 久継(日本経済研究所国際局・研究主幹)
6月4日	日・EUフレンドシップ・ウィーク in 立命館(EU研究会)	●How the EU makes a difference in Public Diplomacy and People to People Exchanges Rudie Filon(駐日EU代表部外交官・広報部長) ●EUソフトパワー大国 朝海 和夫(立命館大学客員教授・元EU大使)
6月25日	日中国際シンポジウム「大連地域における産業集積の変化」	●日本および中国における半導体産業の動向 肥塚 浩(立命館大学・教授) ●大連地域における産業集積とインテル誘致の効果 魯 岩(大連市人民政府発展研究センター工業研究室・主任) ●大連地域における産業集積と周辺部農村地域の変化 王 玲(大連市人民政府発展研究センター農村研究室 主任) ●東北三省の食糧生産の現状と今後の課題 高屋 和子(立命館大学・准教授)
6月25日	途上国ビジネスにおける選択と価値(途上国研究会)	西村 絵里子(オーガニック・ソリューションズ・ルワンダ社)

6月26日	日米中政治経済研究会	●米経常赤字のファイナンスと対外債務・債権の概念上の区分 奥田 宏司 (立命館大学・教授) ●軍事産業のグローバル化と日米関係 松村 博行 (国際日本文化研究センター)
7月22日	分権化と市民社会を解説する(1): 地理とインドのケースから(途上国研究会)	中根 智子 (立命館大学・講師) 小林 操史 (立命館大学国際関係研究科・研究生)
7月31日	日米中政治経済研究会	●サービス多国籍企業と国際分業 井上 博 (阪南大学) ●中国のアフリカ進出と米中関係ールジュ・ミッシェル、ミッシェル・ブーレ著『アフリカを食い荒らす中国』の検討ー 田村 太一 (立命館大学・非常勤講師)
9月17日	日中学術交流講演会-中国社会科学院青年研究者代表団を迎えて-	●東南アジアと大メコン圏開発 長須 政司 (立命館大学・教授) ●中国から見た東アジア共同体構想 李 素華 (中国社会科学院アジア太平洋研究所・助理研究員)
9月30日	Social Cosmologyとしての国際関係論-C.A.Wマニングと国際社会の概念 (英国学派とポスト西洋型国際関係理論研究会)	池田 丈裕 (立命館大学・PD)
10月13日	北朝鮮の現状と日朝関係 (北朝鮮問題研究会)	萩原 遼 (フリージャーナリスト) 南 新一 (在日脱北者人権連合・事務局長)
10月30日	日米中政治経済研究会	●航空宇宙からソフトウェアへー創造型企業都市』シアトルの軌跡ー 山縣 宏之 (立教大学) ●オバマ政権の対中・対東アジア政策 藤木 剛康 (和歌山大学)

10月30日	金融危機後の欧州経済と労働市場を考える(EU研究会)	●ギリシャ危機後の欧州経済:課題と展望 久保 広正(神戸大学・教授) ●ヨーロッパの金融危機・経済危機の労働市場への影響 星野 郁(立命館大学・教授)
11月26日	グローバル危機後の新たな東アジア構築	【第1部】 挨拶・趣旨説明 ●国際関係理論から Pasha Mustapha Kamal(Professor,Chair in International Relations School of Social Sciences University of Aberdeen) ●日中関係論から 劉江 永(清華大学国際問題研究所・教授) 【第2部】 ●朝鮮半島研究から Kim Hyung-Kook(Dean and Professor,School of Social Scienses Sookmyung Women's Univeisity) ●東アジア経済討論論から 沈 銘輝(中国社会科学院アジア太平洋研究所・副研究員) ●ヨーロッパ統合史研究から 益田 実(立命館大学・教授)
11月27日	日米中政治経済研究会	●アメリカにおける対中政策議論-米国議会公聴会を中心に- 中戸 祐夫(立命館大学・教授) ●日米中における威嚇型と約束型のコミットメント相克 佐藤 史郎(京都大学)
12月25日	日米中政治経済研究会	●世界金融危機後のアメリカ連邦財政の現状と課題 河音 琢郎(和歌山大学) ●米国による2つの外圧エピソードと日中の対応 中川 亮平(立命館大学)

2011年1月22日	日米中政治経済研究会	●日米・米中間農産物貿易の近年の動向 千葉 典(神戸外国語大学) ●国際政治経済学の方法論-関下稔著『国際政治経済学要論-学際知の挑戦』の検討を通じて 森原 康仁(京都大学経済学研究科・博士後期過程)
1月29日	英国学派とポスト西洋型国際関係理論研究会	●英国委員会とM.ワイト 角田 和広(明治大学政治経済研究科) ●英国学派の起源と生成～イギリスにおける国際関係論発展との関連で 大中 真(桜美林大学リベラルアーツ学群人文学系)
2月26日	日米中政治経済研究会	●中国対外経済政策決定の新段階-国際レジームへの対応と国内体制- 中川 涼司(立命館大学・教授) ●アメリカ金融覇権終りの始まり-グローバル経済危機の検証 毛利 良一(日本福祉大学)

3月7日	立命館大学・厦門大学共同セミナー「GMSをめぐる日本と中国」 於中国・厦門大学 (メコン川開発研究会)	●Analysis on Obstacles in GMS Economic Cooperation 廖 少廉(厦門大学・教授) ●The East Asian Economies after the Global Economic Crisis and the Course Japan Should Take – Focusing on GMS (Greater Mekong Sub-Region) Development Plan – 西口 清勝(立命館大学・教授) ●China's Presence in Myanmar: Sino-Myanmar Transportation Corridor 範 宏偉(厦門大学・教授) ●The Present Condition and Challenges of Development in Cambodia Ngov Penghuy (名古屋大学・助教) ●Sino-Vietnam Economic Relation: Complementation and Competition 守 政毅(立命館大学・准教授) ●Comparative Survey of IPR Systems in Three GMS Countries: Cambodia, Laos PDR and Thailand 渡辺 周央(同志社女子大学・教授) ●Forging Closer Sino-Indonesia Economic Relations and Policy Suggestions 呉 崇伯(厦門大学・教授) ●International Cross Border Economic Regions in East Asia, Greater Tumen River Area (GTA) and Greater Mekong Su-Region (GMS) 松野 周治(立命館大学・教授)
3月18日	東アジア専門家会議「東北アジア地域協力と中朝関係」	●北朝鮮の最新動向について 呂 超(遼寧社会科学院边疆研究所・所長) ●延辺朝鮮族と自治州と中朝関係 金 香海(延辺大学東アジア研究センター・教授) ●図們江地域調査報告 松野 周治(立命館大学・教授)
3月19日	米国議会の対中戦略と経済関係—2010年版『米中経済・安全保障再調査委員会報告』の検討を(日米中政治経済研究会)	田村 太一(立命館大学・非常勤講師) 小山 大介(大阪樟蔭女子大学・非常勤講師)

2009年度

開催日	講演会・シンポジウム名	テーマ/報告者
2009年4月25日	ヨーロッパ調査報告/東京調査報告(知識資本と世界経済研究会)	星野 郁(立命館大学国際関係学部) 中本 悟(大阪市立大学) 田村 太一(大阪市立大学大学院) 森本 康仁(京都大学大学院)
5月23日	知識資産経営と組織パフォーマンス-人材・知識・ICTの融合の時代-(知識資本と世界経済研究会)	小豆川 裕子(NTTデータシステム科学研究所・主幹研究員)
5月28日	国際関係理論の「ポスト西洋的転回」と英国学派 (ポスト西洋型国際関係理論研究会)	池田丈 佑(立命館大学・PD)
7月11日	知識資本と世界経済研究会	●知識資本主義の時代に関する予備的考察-スマートパワー・頭脳還流・クリエイティブ・クラス・ソーシャルビジネスを中心にして- 関下 稔(立命館大学・教授) ●20世紀の電子情報化と制度補完-21世紀への意味- 中川 涼司(立命館大学・教授)
7月13日	東北アジア地域研究会 「京都府北部地域と韓国との人流：新たな可能性」	金 相俊(近畿大学経営学部・准教授)
7月30日	東北アジア地域研究会	●東アジアでの華人ネットワークの拡大・深化とアジア企業の連携 守 政毅(立命館大学・准教授) ●東北アジア地域協力に関する最近の議論：慶州、哈爾濱に2つのフォーラムを踏まえて 松野 周治(立命館大学・教授)
11月27日	外務省 平成21年度 日中研究交流支援事業 キックオフミーティング 於中国社会科学院日本研究所	「21世紀における新たな日中関係—現状と課題」
12月11日	文化大革命に関する覚書(現代中国研究会)	奥村 哲(東京都立大学・教授)

2010年1月17日	国際シンポジウム 「グローバルディアスポラ経済と文化的理解」(華人企業経営研究会)	【参加大学】中国・厦門大学南洋研究院、韓国・全南大学校、立命館大学
1月21日	メキシコ・シティーにおける民衆運動と市民参加(途上国研究会)	小林 操史(立命館大学国際関係学部)
1月29日-30日	日中国際シンポジウム 「21世紀東アジアにおける新たな日中関係ー現状と課題-」 1)東アジア経済協力推進に必要な新たな考え方 2)鳩山新政権の日中関係と東アジア地域協力 3)東アジア新時代と日中関係 4)中国グローバル化の歴史的 position と課題 5)グローバル経済危機下の東アジアと日中協力 6)東アジア共同体構想と日中協力の意義	張 蘊嶺(中国社会科学院国際学部・主任) 王 曉峰(中国社会科学院日本研究所・副所長) 天児 慧(早稲田大学国際学術院・教授) 王 海峰 (国家発展改革委員会対外経済研究所国際経済総合研究室・主任) 孫 歌(中国社会科学院文学研究所・教授) 加藤 弘之(神戸大学経済学研究科・教授) 山下 範久(立命館大学国際関係学部・准教授) 李 向陽(中国社会科学院アジア太平洋研究所・所長) 丸屋 豊二郎(ジェトロ・アジア経済研究所・理事) 張 季風(中国社会科学院日本研究所経済研究室・主任) 庄 国土(厦門大学南洋研究院・院長) 外務省(中国・モンゴル課) 西澤 信善(近畿大学経済学部・教授)
3月4日	東北アジア地域協力研究会 「環日本海国際フェリーによる観光文化交流と地域活性化の可能性」	●韓国と日本(京都府・北近畿)との人的交流の現状と今後の発展可能性 金 相俊(近畿大学経営学部・准教授) ●北東アジアにおける観光文化交流の現状と日本(京都府・北近畿)へのインバウンド戦略 塩見 正成(株)JTB西日本本社交流文化部・地域交流ビジネス推進室長)

2008年度

開催日	講演会・シンポジウム名	テーマ/報告者
-----	-------------	---------

2008年6月15日	ヒューマン・トラフィキング(国際的人身取引)研究の現状と課題 (ヒューマン・トラフィキング研究会)	大久保 史郎(立命館大学法科大学院)
6月27日	英国学派とは何かーそのアプローチ方法をめぐって (英国学派と国際関係理論研究会)	池田 丈佑(立命館大学・PD)
6月28日	日本のアニメ産業と知的財産権(知識資本と世界経済研究会)	小山 大介(京都大学大学院)
7月4日	マイグレーション研究会	●日本の医療労働現場における外国人労働者の受け入れについて 竹野 幸子(非営利・協同総合研究所いのちとくらし事務局) ●シンガポールにおける外国人労働者の受け入れ制度・政策・老人介護施設の ケース Carlos Maria Reinaruth D(龍谷大学国際文化学部・准教授)
7月12日	転換期の南アフリカ～岐路に立つポスト・アパルトヘイト国家 (マイグレーション研究会)	白戸 圭一(毎日新聞編集局政治部・記者、前ヨハネスブルグ特派員)
7月26日	在日コリアン企業家の起業動機と企業類型化研究 (東アジア企業家ネットワーク研究会)	林 永彦(韓国・全南大学校世界韓商文化研究団研究・教授)
7月30日	国際社会と慈善社会ーヘドリー・ブル「国際社会論」の発展的考察 (英国学派と国際関係理論)	上野 友也(日本学術振興会特別研究員)
9月13日	知識資本と世界経済研究会	●IT産業におけるサービス分野の台頭の意味-米系製造業IT企業の戦略との関連 で 森原 康仁(京都大学大学院) ●遺伝子組換え作物と知的財産権:モンサント社の事例を中心に 千葉 典(神戸市立大学)
9月18日	現代中国研究ー基礎研究としての中国語学の立場からー (立命館現代中国研究会)	中川 正之(立命館大学国際機構・教授)

9月26日	Andrew Linklater, The Transformation of Political Communityyを読む -10年目の再評価(英国学派と国際関係理論研究会)	池田 丈佑(立命館大学・PD)
10月24日	東アジア専門家会議	●これからの中国-メコン開発を切り口に 植田 邦彦(元外務省アジア大洋州局長) ●メコン川地域開発の現状と問題点 西澤 信善(近畿大学経済学部・教授) ●The Laos Perspective and Policies towards GMS Khamlusa Nouansavanh(ラオス国立大学経済経営学部・学部長) ●Environmental Conservation Policies of Thailand towards GMS Dararatt Anantanasuwong(タイ・国立行政開発研究院[NIDA]開発問題研究所・副所長) ●メコン川地域開発と中国-雲南省との関係を中心に- 朱 振明(中国雲南省社会科学院東南亜細亜研究所・副所長) ●メコン川地域開発と大学の役割-人材育成の視点から- 松野 周治(立命館大学国際機構長、経済学部・教授)
11月4日	マイグレーション研究会	「JPEPA and Filipino Caregivers and Nurses to Japan」
11月8日	知識資本と世界経済研究会	●アメリカの知的財産業の業界団体について 中本 悟(大阪市立大学・教授) ●メジャーの国際線競争とオープンスカイ対策 松本 俊哉(立命館大学大学院)
11月12日	マイグレーション研究会	●インドネシア人介護福祉士候補者2008年度受入れ状況の現状と課題 山崎 イチ子(花園大学社会福祉学部・特任教授) ●EPAインドネシア人看護師・介護福祉士受入れの問題点-就労者の負担、施設の負担 嶋田 ミカ(龍谷大学経済学部・助手)

11月21日	途上国研究会	●東アジアにおける鳥インフルエンザ: 脅威・ガバナンス・地域協力 鬼丸 武士(政策研究大学院大学) ●国際保険協力とガバナンス 岡本 明子(名古屋大学)
11月28日	国際社会への日本の参入 (英国学派と国際関係理論研究会)	森田 吉彦(帝京大学文学部)
12月20日	資本と世界経済研究会	●金融危機下におけるヨーロッパ経済の現状と課題 星野 郁(立命館大学国際関係学部) ●1980年代以降のアメリカ製造業の再編 田村 太一(大阪市立大学大学院)
2009年1月17日	国際シンポジウム 「グローバルディアスポラ経済と文化的理解」	施 雪琴 王 望波 中川 涼司(立命館大学) Schlunze Rolf Dieter 崔 錫信 京 成林(全南大学校) 方 帆(立命館大学) 金 紅梅(立命館大学) 姜 園(全南大学校) 張 崙洙 羅 洲夢 張 禹權
2月12日	経済学会セミナーシリーズ	●中国の医療保障改革と財政投入政策 劉 明慧(東北財経大学・教授) ●中国医療サービスの格差問題と課題 劉 曉梅(東北財経大学・教授)
2月22日	東アジア専門家会議	現代中国の歴史的位相

3月5日	人間の安全保障研究会 「批判的人間の安全保障とグローバル化-ネオ・リベラリズムを超えるか？」	Mustapha Pasha (Aberystwyth University, UK) Anthony G. McGrew (University of Southampton, UK) 佐藤 誠 (立命館大学国際関係学部・教授) 古川 彰 (立命館大学経済学部・教授) ウクリスト パトマナン (チュラロンコン大学・教授) 佐藤 千鶴子 (立命館大学国際関係研究科・准教授) グル セイラントク (立命館大学国際関係研究科・博士課程)
------	---	---

2007年度

開催日	講演会・シンポジウム名	テーマ/報告者
2007年5月18日	東北アジア共同体 「中国のIT産業と日中ビジネス協力」	中川 涼司 (立命館大学国際関係学部・教授) 守 政毅 (立命館大学経営学部・准教授)
5月19日	知識資本と世界経済研究会	●知識資本と世界経済について-プロジェクトの主旨- 朝日 稔 (名古屋学院大学) ●今後のプロジェクトの進め方について 中川 涼司 (立命館大学国際関係学部・教授)
5月25日	英国学派における多元主義と連帯主義-有用性と問題性- (英国学派と国際関係理論)	市川 美南子 (東京福祉大学・専任講師)
6月23日	ローレンス・レッシング『Free Culture』をめぐって (知識資本と世界経済研究会)	井出文紀、松村博行 (立命館大学国際関係学部・非常勤講師)
7月13日	中国東北地域の経済振興について (東北アジア共同体研究会)	江原 規由 (日本貿易振興機構企画部・事業推進主幹)
7月14日	知識資本と世界経済研究会	●Web2.0時代のビジネスモデル 森原 康仁 (京都大学 大学院) ●中国のコンテンツビジネス 中川 涼司 (立命館大学国際関係学部・教授)

7月17日	医学労働者の国際移動の現状と諸問題 (日本と南アフリカをめぐる国際人口移動研究プロジェクト)	佐藤 千鶴子(立命館大学衣笠研究機構PD)
7月27日	ユーロピアン・リアリズムの「消極的安全保障」論 (英国学派と国際関係理論研究会)	佐藤 史郎(龍谷大学アフラシア平和開発センター・博士研究員、 立命館大学国際関係研究科博士後期課程)
10月4日	アフガニスタン国家建設への障害－民族、イスラーム、外国軍－ (途上国研究会)	嶋田 晴行(JICAアフガニスタン事務所)
10月12日	賢慮・正義・解放:英国学派の倫理観と現代社会へのインプリケーション (英国学派と国際関係理論研究会)	池田 丈佑(東北大学ジェンダー・法・政策研究センター・COEフェロー)
10月13日	知識資本と世界経済研究会	●知識集約型企業のビジネスモデル 西井 進剛(兵庫県立大学経営学部・准教授) ●21世紀のICT革命の行方 野口 宏(関西大学総合情報学部・准教授)
11月17日	『ウィキノミクス』めぐって (知識資本と世界経済研究会)	田村 太一(大阪市立大学大学院) 森原 康仁(京都大学大学院)
12月7日	第2回東アジア専門家会議	北東アジアにおける平和と安定:核問題と朝鮮半島
12月17日	シンガポールにおける政府系草の根組織と市民社会:国家・市民社会関係の 事例として(途上国研究会)	田中 善紀(立命館大学・非常勤講師)
12月22日	リチャード・フロリダ『クリエイティブ・クラスの世紀』をめぐって (知識資本と世界経済研究会)	松本 俊哉(立命館大学大学院) 田村 太一(大阪市立大学大学院)
2008年1月25日	東北アジア共同体	●中国型多国籍企業モデルの検証 方 帆(立命館大学経済学研究科博士課程後期) ●経済社会発展研究院を中心とした東北財経大学の研究活動について 曹 瑞林(金沢星稜大学経済学部・教授)

1月29日	移民としてのコリアン～ロシア、アメリカ、中国で (日本・南アフリカ国際人口移動研究プロジェクト)	鄭 雅英(立命館大学経営学部・准教授)
2月5日	ハリウッド型ビジネスモデルの考察-エンターテインメント産業の経済原理と知識資本-(知識資本と世界経済研究会)	関下 稔(名古屋学院大学)
2月22日	現代中国の歴史的位相(東アジア専門家会議)	金 熙徳(中国社会科学院日本研究所) 溝口 雄三(東京大学・名誉教授) 西村 成雄(大阪大学・教授) 山下 範久(立命館大学国際関係学部・准教授)
3月6日-8日	日中国際シンポジウム 「東北振興戦略の下での中国東北部の変化と新しい東北アジア地域の協力」	●中国IT産業における人的資源-帰国人材の役割 中川 涼司(立命館大学国際関係学部・教授) ●東北アジアにおける日中企業の戦略的提携の可能性 守 政毅(立命館大学経営学部・准教授) ●中国企業のグローバル化 曹 瑞林(金沢星稜大学・教授)
3月10日	第1回東アジア専門家会議	「21世紀東アジアの平和的社会秩序の構築」を構想するために
3月21日	知識資本と世界経済研究会	●情報・知識・知識生産労働・知識資本:基礎概念の検討 板木 雅彦(立命館大学国際関係学部) ●知識資本主義諸理論の成果・課題をめぐって 井出 文紀(国際日本文化研究センター)
3月27日-28日	東北アジア／経営学会 「遼寧省と日本の産官学連携研究の可能性について」 「遼寧省装備(機械)製造業の自主開発について」	徐 繼舜(遼寧省社会主義学院・前院長、教授)

2006年度

開催日	講演会・シンポジウム名	テーマ/報告者
2006年5月12日	「東北アジア共同体への道」合評会	松野 周治(立命館大学経済学部・教授)

7月28日	Marisol Estrella and Nina Iszatt ed. (2004), BEYOND GOOD GOVERNANCE: Participatory Democracy in the Philippines (途上国研究会)	山根 健至(立命館大学国際関係研究科・研究生)
9月22日	日中社会文化の相違について (東北アジア共同体研究会)	趙 子祥(遼寧社会科学院・前院長)
9月29日	ワイトの国益の理論(英国学派と国際関係理論研究会)	安藤 次男(立命館大学国際関係学部・教授)
10月25日	英国学派と国際関係理論(英国学派と国際関係理論研究会)	国際政治における英国学派「創られる伝統」のアジェンダ
10月26日	日本のガバナンス支援(途上国研究会)	大岩 隆明(JICA国際協力総合研究所・調査研究グループ長、主任研究員)
11月3日-5日	歴史認識と東アジアの平和フォーラム 「歴史認識と東アジアの平和」	●ワイトの戦争の理論 佐藤 千鶴子(立命館大学国際関係学部・非常勤講師、 龍谷大学アフラシア研究センター・PD研究員) ●本共同研究の進め方について 佐藤 誠(立命館大学国際関係学部・教授)
11月17日	「東アジア共同体の構築」合評会(東北アジア共同体研究会)	坊野 成寛(日本国際問題研究所・研究員) 田中 宏(立命館大学経済学部・教授)
11月30日	グローバル化時代の発展途上大国: 中国社会の課題と展望 (途上国研究会)	夏 剛
12月8日	ブルとマリノフスキーの戦争観の比較と再検討 (英国学派と国際関係理論研究会)	臼杵 英一(大東文化大学・教授)

2007年2月17日	国際シンポジウム 「東北アジア共同体結成への提言」	金 熙徳(中国社会科学院日本研究所・教授、中国アジア太平洋学会・副秘書長) 許 介麟(台湾国立大学社会科学院・日本研究所教授) 中戸 祐夫(宇都宮大学国際関係学部・助教授) 朴 承憲(延辺大学東北アジア研究院・院長) LEE Kangkook(立命館大学経済学部・助教授) 朴 明欽(釜山広域市議会・政策室長) 本田 豊(立命館大学政策科学部・教授)
3月10日	東アジア専門家会議 「21世紀東アジアの平和的社会秩序の構築を構想するために」	朴 泰均(ソウル大学校国際大学院) 沈 海濤(吉林大学東北亜研究院・副所長) 西口 清勝(立命館大学・経済学部) 大久保 史郎(立命館大学法科大学院) 金 熙徳(中国社会科学院日本研究所・副所長) 張 済国(東西大学校日本研究所・所長) 毛利 和子(早稲田大学政治経済学術院) 曹 瑞林(金沢星稜大学経済学部)
3月23日	中国の第十一次五カ年企画と中日の新たな協力関係について (東北アジア共同体研究会)	夏 占友(対外経済貿易大学・教授、国際経済研究所・副所長)

2005年度

開催日	講演会・シンポジウム名	テーマ/報告者
2005年4月23日	余暇の拡大とレジャー産業におけるブランド化	関下 稔(立命館大学国際関係学部・教授)
5月28日	産業連関表の生産・貿易データで見る日米のITサービス」の報告 (サービス貿易投資研究会)	久永 忠(大阪市立大学大学院)

6月24-25日	国際シンポジウム「東北アジア時代と現代韓国・日本」	●大連市開発区の最新動向 楊 艶(舞鶴市国際交流員) ●アメリカにおけるITサービスの発展 森原 康仁(京都大学大学院) ●世界経済のサービス化とグローバル化-サービス多国籍企業の発展 板木 雅彦(立命館大学国際関係学部・教授)
6月25日	東アジアにおける情報通信産業の発展・貿易 (サービス貿易投資研究会)	田村 太一(大阪市立大学大学院)
7月15日	現代中国経済の特徴について(東北アジア共同体研究会)	金 鳳徳(東北財経大学国際貿易学院・教授、滋賀大学経済学部・教授)
7月22日	兩岸関係における脱国家主義的思考(東北アジア共同体研究会)	陳 宜中(台湾中央研究人文社会科学学院・副研究員)
7月30日	シンポジウム 「北東アジアにおける台湾と兩岸関係」	夏 剛(立命館大学国際関係学部・教授) 趙 建民(国立政治大学中山人文社会科学研究所・教授) 中川 涼司(立命館大学国際関係学部・教授) 鄭 秀玲(国立台湾大学経済学系・副教授) 山田 人士(立命館大学国際関係学部・教授) 朱 雲漢(国立台湾大学政治学系・教授) 張 佑宗(国立台湾大学政治学系・教授)
9月29日	北朝鮮の経済改革と技術者教育(東北アジア共同体研究会)	James Reilly (East Asia Technology & Economy Center)

2004年度

開催日	講演会・シンポジウム名	テーマ/報告者
-----	-------------	---------

2004年6月11-12日	国際セミナー 「東北アジアの地域経済協力と安全保障－朝鮮半島を中心に」	松野 周治(立命館大学経済学部・教授) 曹 東昊(韓国開発研究所[KDI]・北朝鮮チーム長) 金 哲(中国遼寧省社会科学院世界経済研究所・副所長) 金 鍊哲(高麗大学校・教授) 岩本 卓也(外務省アジア大洋州局北東アジア課・課長補佐) 豊下 樽彦(関西学院大学・教授) 金 榮允(統一研究院・専任研究委員) 朴 鍵一(中国社会科学院アジア太平洋研究所・助教授) 金 良姫(大統領諮問東北アジア経済中心推進委員会・首席専門委員)
6月17日	書評会: 関下稔・小林誠編 『統合と分離の国際政治経済学』 (グローバルガバナンス研究会)	水野 賢二(立命館大学大学院国際関係研究科) 井出 文紀(立命館大学・非常勤講師)
7月10日	Bryson, John, Peter W. Daniels and Barney Warf, Service Worlds: People, Organizations, Technologies, Routledge, 2004 の検討 (グローバルガバナンス研究会/サービス貿易投資体制部会)	田村 太一/久永 忠(大阪市立大学大学院)
7月23日	東北アジア共同体研究会	●冷凍食品ビジネスのアジア展開－中国とタイの事例から－ 松原 豊彦(立命館大学経済学部・教授) ●アメリカにおけるビジネス・サービスの発展 中本 悟(大阪市立大学大学院創造都市研究科・教授) ●北東アジアの協調的安全保障 中野 有(ジョージワシントン大学・客員研究員)
10月23日	グローバルガバナンス研究会/サービス貿易投資体制部会	●アジアにおける金融サービス多国籍企業の展開 磯谷 玲(宇都宮大学・助教授) ●国境を越えてゆく東北アジアの文化－ナショナリズムとの関わりを中心に 黄 盛彬(立命館大学産業社会学部・助教授)

10月30日	国際シンポジウム 「東北アジア地域協力への道－基礎条件と展望」	金 熙徳(中国社会科学院日本研究所・教授) 徐 勝(立命館大学法学部・教授) 姚 文礼(中国社会科学院日本研究所・副研究員) 宋 柱明(Hanshin[韓新]大学校日本地域学・副教授) 松野 周治(立命館大学経済学部・教授) 張 季風(中国社会科学院日本研究所・副研究員) 西口 清勝(立命館大学経済学部・教授) 江 瑞平(中国社会科学院アジア太平洋研究所 教授) 夏 剛(立命館大学国際関係学部・教授) 張 建立(中国社会科学院アジア太平洋研究所・助理研究員) 黄 盛彬(立命館大学産業社会学部・助教授)
11月5日	国際コメ年協賛 国際シンポジウム 「食糧供給の持続可能な共生社会の実現に向けて」	Gurdev S. KHUSH(California University, USA) 玉村 美保子(国際連合世界食糧計画(WFP)日本事務所・代表)
11月26日	延辺地域調査報告(東北アジア共同体研究会)	中川 涼司(立命館大学国際関係学部・教授) 裴 光雄(大阪教育大学・助教授) 金 鳳徳(東北財経大学・教授、滋賀大学・教授) 松野 周治(立命館大学経済学部・教授)
12月11日	サービスのオフショアリングとアジア (グローバルガバナンス研究会/サービス貿易投資体制部会)	井出 文紀(立命館大学経済学部・非常勤講師)
12月17日	東北アジア共同体研究会	●“文化縁”・“文化溝”・“文化力”－東北亜細亜の融合の可能性と障碍の一側面 夏 剛(立命館大学国際関係学部・教授) ●経済・貿易緊密化協定(CEPA)と中国・香港サービス業－現地調査報告－ 関下 稔/中川 涼司(立命館大学国際関係学部・教授)

2005年 1月21-22日	国際シンポジウム 「東アジア共同体の構築を目指して」	西口 清勝(立命館大学経済学部・教授) 金 熙徳(中国社会科学院日本研究所・教授、中国アジア太平洋学会・副秘書長) David Edgington(The University of British Columbia) 中達 啓示(立命館大学国際関係学部・教授) Rujhan Mustafa(University Malaysia Sarawak, Malaysia) 張 達重(ソウル大学校・教授、統一フォーラム委員長) 夏 剛(立命館大学国際関係学部・教授) 庄 国土(中国・厦門大学南洋研究院・院長) Tessa Morris-Suzuki(The Australian National University, Australia) 松井 芳郎(立命館大学法務研究科・教授) Shee Poon Kim(National University of Singapore, Singapore) Lee Kang-kook(立命館大学経済学部・助教授)
2月17日	国際シンポジウム	「東北アジア共同体結成への提言」
3月10日	東北アジア共同体研究会	●東アジア共同体の基礎条件:台湾からの視点 許 介麟(国立台湾大学日本総合研究所・所長) ●The Role of Hong Kong for Foreign Direct Investment and Trade to China 古田 茂美(香港貿易発展局大阪事務所・所長) ●余暇とレジャー産業 朝日(関下) 稔(立命館大学国際関係学部・教授)
3月23日	サービス多国籍企業の諸特徴について (グローバルガバナンス研究会/サービス貿易投資体制部会)	井上 博(阪南大学流通学部・教授)
3月28日	東アジアにおける台湾問題－兩岸政治の対抗と和平の展望 (東北アジア共同体研究会)	陳 宜中(台湾中央研究人文社会科学院・副研究員)

2003年度

開催日	講演会・シンポジウム名	テーマ/報告者
-----	-------------	---------

2003年6月14日	北東アジア経済ハブ国家 (21世紀北東アジア専門家会議)	Lee Kangkook (立命館大学経済学部・助教授)
7月15日	東北アジアの情勢と日中関係 (21世紀北東アジア専門家会議)	金 熙徳 (中国社会科学院日本研究所・教授、東京大学・客員教授)
7月4日	韓国・日本の対北朝鮮政策 (21世紀北東アジア専門家会議)	辛 貞和 (松阪大学政策学部・助教授)
8月19-20日	国際ワークショップ 「北東アジア平和と繁栄の諸条件―地域協力の現状と課題―」	中戸 祐夫 (宇都宮大学・専任講師) 夏 剛 (立命館大学国際関係学部・教授) 西口 清勝 (立命館大学経済学部・教授) 李 燦雨 (笹川平和財団・主任研究員) Kim Keun Sik (Far East Research Center of Kyungnam University) Kim Yeon Chul (Professor , Korea University) Hum Dong-hoon (Incheon Development Institute) 姜 文学 (東北財経大学国際経済貿易学院・講師)
2004年1月16日	国際ワークショップ 「北東アジア地域経済協力の進展と前提条件―中国東北を中心に―」	金 鳳徳 (東北財経大学国際貿易学院・教授) 安 崗 (東北財経大学国際貿易学院・博士研究生) 朴 承憲 (延辺大学東北アジア研究院・院長・教授、東北大学・客員教授) 汪 正仁 (立命館アジア太平洋大学アジア太平洋マネジメント学部・教授) 裴 光雄 (大阪教育大学教育学部・助教授) 劉 昌黎 (東北財経大学国際貿易学院・教授、滋賀大学・教授) 李 燦雨 (笹川平和財団・主任研究員)

2002年度

開催日	講演会・シンポジウム名	テーマ/報告者
2002年6月18日	朝鮮半島の平和と日韓・日朝関係 (21世紀北東アジア専門家会議)	徐 勝 (立命館大学法学部・教授) 申 志鎬 (三星経済研究所・首席研究員)

7月13日	中国WTO加盟と北東アジア経済 (21世紀北東アジア専門家会議)	中川 涼司(立命館大学国際関係学部・教授) 金 鳳徳(中国東北財経大学国際貿易学院・教授、広島修道大学・客員教授)
9月27日	21世紀北東アジアの国際物流と地域協力の展望 (21世紀北東アジア専門家会議)	辻 久子((財)環日本海経済研究所調査研究部・主任研究員) 汪 正仁(立命館アジア太平洋大学・教授)
10月16日	国際地域研究所シンポジウム 「京阪神3大都市の「我が都市の国際化と国際展開」」	岡田 文秀((財)大阪国際交流センター・事務局長) 神谷 俊昭(京都市総務局国際化推進室長) 富士 義兼(神戸市生活文化観光局・次長、国際担当部長)
11月2日	日朝首脳会談とその展望 (21世紀北東アジア専門家会議)	小此木 政夫(慶應義塾大学法学部・教授) 波佐場 清(朝日新聞社・編集委員) 全 哲男(朝鮮大学校) 李 燦雨(環日本海研究所)
12月9日	『京都議定書』と中国の環境問題 (21世紀北東アジア専門家会議)	大島 堅一(立命館大学国際関係学部・助教授) 李 長明(中国社会科学院工業経済研究所・教授、研究員)
12月18日	歴史学から見た日朝平壤共同宣言 (21世紀北東アジア専門家会議)	太田 修(佛教大学文学部史学科・助教授) 康 成恩(朝鮮大学校教授・歴史地理学部長)
2003年1月30日	中部大学・立命館大学国際地域研究所共同シンポジウム 「アメリカの見られ方感じられ方」	山口 勉(読売新聞編集局・国際部長)

2月15-16日	立命館大学国際地域研究所特別国際シンポジウム 「21世紀北東アジア平和構築と地域協力ー新たな情勢と日本の役割」	武者小路 公秀 (中部大学中部高等学術研究所長、前国連大学・副学長) 張 蘊嶺 (中国社会科学院亜細洋研究所長・研究員、APEC政策担当・中心主任、中国亜細学会・会長) Philip Park (米国・KDI国際政策大学院・客員教授) 中川 涼司 (立命館大学国際関係学部・教授) 蔣 立峰 (中国社会科学院日本研究所長・研究員、中華日本学会・常務・副会長) 小林 誠 (立命館大学国際関係学部・助教授) 韓 桂玉 (大阪経済法科大学アジア研究所・客員教授) 金 熙徳 (中国社会科学院日本研究所・教授、対外関係研究室・主任、韓国研究中心常務理事) 張 達重 (韓国・ソウル大学校政治学科・教授、「統一フォーラム」代表) 豊下 楷彦 (関西学院大学法学部・教授)
----------	--	--

2001年度

開催日	講演会・シンポジウム名	テーマ/報告者
2001年6月8日	北東アジア専門家会議	李 鍾奭 (韓国世宗研究所南北関係室長、南北主脳会談特別随行員)
7月27日	変動する東アジアと日中関係 (21世紀北東アジア専門家会議)	田 培良 (中国人民外交学会研究部・副主任)
10月15日	シンポジウム 「東アジアにおける国家暴力・重大な人権侵害からの回復」	朱 徳蘭 (台湾中央研究院・副研究員) 韓 寅燮 (国立ソウル大学校・助教授) 徐 勝 (立命館大学法学部・教授)
11月23日	第4回北東アジア国際フォーラム 「新たな北東アジア地域の国際協力のあり方と新世代の役割」	Anthony Fielding (University of Sussex, UK) 金 鳳徳 (中国・東北財経大学) 金 昌洙 (韓国・釜山大学) David Diker (立命館大学国際関係学部) 富野 暉一郎 (龍谷大学)
2002年2月22-25日	第5回「東アジアの平和と人権」国際シンポジウム	冷戦・国家暴力と日本

3月15-16日	セミナー in ソウル 地殻変動の構図－韓国・朝鮮首脳会談以後の東北アジアと平和へのシナリオ (21世紀北東アジア専門家会議)	鄭 在皓(ソウル大学校外交学科) Scott Snyder(アジア財団韓国代表) 大久保 史郎(立命館大学) Tamara Gavrilovna Troyakova (Associate Professor, Vladivostok State University of Economics Institute of Regional Studies and Cross-Cultural Communications) 西口 清勝(立命館大学) 徐 東満(尚志大学校) 金 星勲(統一研究院・経済協力研究室長)
----------	---	---

2000年度

開催日	講演会・シンポジウム名	テーマ/報告者
2000年6月	日韓共同研究 第3回シンポジウム	「東アジアの安全保障と人権研究会」プロジェクト
	日韓共同研究 第4回シンポジウム	「東アジアの安全保障と人権研究会」プロジェクト
7月22日	韓国・朝鮮首脳会談と北東アジア新展開の可能性 (21世紀北東アジア専門家会議)	豊下 楷彦 李 起範 中野 有
10月21日	朝鮮半島:加速する南北交流と平和へのシナリオ (21世紀北東アジア専門家会議)	張 達重(ソウル大学・教授、ソウル大学統一研究委員会・委員長) 波佐場 清(朝日新聞社・編集委員)
11月25日	高野幸二郎氏との懇談会(21世紀北東アジア専門家会議)	高野 幸二郎(日朝国交正常化交渉日本側代表)
12月2日	第3回中部大学国際地域研究所・立命館大学国際地域研究所共同シンポジウム	「グローバリゼーションとガバナンスの危機」
2001年2月13日	転換期の北東アジアと日朝関係(21世紀北東アジア専門家会議)	和田 春樹(東京大学・名誉教授)

1999年度以前

開催日	講演会・シンポジウム名	テーマ/報告者
1999年10月21-22日	日韓共同研究 シンポジウム	変貌する日韓の司法—改革の焦点
1999年	国際ワークショップ 「アジア太平洋的コンテクストにおける日米関係」	Walter Mead (米・外交問題評議会上級研究員) G. John Ikenberry (University of Pennsylvania, USA) Michael Mastanduno (Dartmouth College, USA) 小池 洋次 (日本経済新聞社・国際部長) 西川 潤 (早稲田大学政経学部・教授) 藤原 帰一他 (東京大学法学部・教授)
6月23-25日	国際シンポジウム 「日米関係21世紀へのアジェンダ」	Walter Mead (米・外交問題評議会・上級研究員) 石井 正文 (外務省・総合外交政策局企画課長)
1998年12月6日	国地研プロジェクトA「環太平洋地域統合と持続的発展」/ 中部大学国際地域研究所との共催シンポジウム 「グローバリゼーションと発展途上国—21世紀への検証—」	松下 洸 (立命館大学国際関係学部・教授) Truong Mealy (駐日カンボジア大使) 谷口 誠 (早稲田大学大学院アジア太平洋研究科・客員教授) 重松 伸司 (中部大学中部高等学術研究所・客員教授) 唐沢 敬 (立命館大学国際関係学部・教授) 角田 勝彦 (中部大学人文学部・教授)
1997年11月28日	国際地域研究所設立10周年記念シンポジウム 「21世紀の食糧・資源問題—持続可能な地球経済は可能か—」	Lester Russell Brown (ワールドウォッチ研究所・所長) 三橋 規宏 (日本経済新聞社・論説副主幹) 小山 修 (農林水産省国際農林水産業研究センター) 松原 豊彦 (立命館大学経済学部・助教授)
1996年10月19日	国地研プロジェクトA環太平洋地域統合と持続的発展/ 中部大学国際地域研究所との共催シンポジウム	南アフリカにおける国民和解と持続的発展の展望
9月17-18日	国際シンポジウム	核兵器の50年 広島シンポジウム

9月12-13日	第6回立命館・アメリカン大学共同セミナー	21世紀の国際関係と開発：アメリカ合衆国・日本・韓国
1995年7月15-16日	シンポジウム	日・中・韓における会社資金の調達と投資家保護」「日・中・韓」プロジェクト
1994年12月3日	台湾問題シンポジウム（国際言語文化研究所共催）	台湾の現代化をめぐる―台湾植民地統治百年にあたって―
2-7月	東アジア研究連続セミナー（6回）	「東アジア経済圏をめぐる日米関係」 「東北アジアの平和秩序と安全保障システムの構想」両プロジェクトによる連続セミナー
10月14-15日	アメリカン大学との第4回共同研究	
1993年1月23日	日本シミュレーション＆ゲーミング学会「S＆Gシンポジウム」	「シミュレーション＆ゲーミングと政策科学の構想」
1992年11月25-27日	第3回立命館・アメリカン大学共同セミナー	安定、安全保障及び開発のための協力における欧州、米国及び日本の役割
1991年10月8-9日	第2回日米関係シンポジウム	冷戦後の新世界秩序
1990年11月17日	立命館創始120年学園創立90周年記念国際セミナー	地球化時代の日米関係
6月25日	特別講演会（理工学研究所との共催） 「『信長の野望』はどうしてつくられたか―シミュレーションゲームソフト開発の戦略」	襟川 陽一（（株）光栄・社長）
5月6日	第1回国際セミナー	アジア太平洋経済圏の形成と日本の対応
April - December.1989	日米関係研究シリーズ（計7回） 「労働、消費者保護、通商政策、安全保障、会社法、裁判制度、行政各分野の日米比較」	Robert Evans and so on（Brandeis University, USA）
1988年10月27日	国際シンポジウム 東西技術移転の諸問題―ココム規制を中心として―	